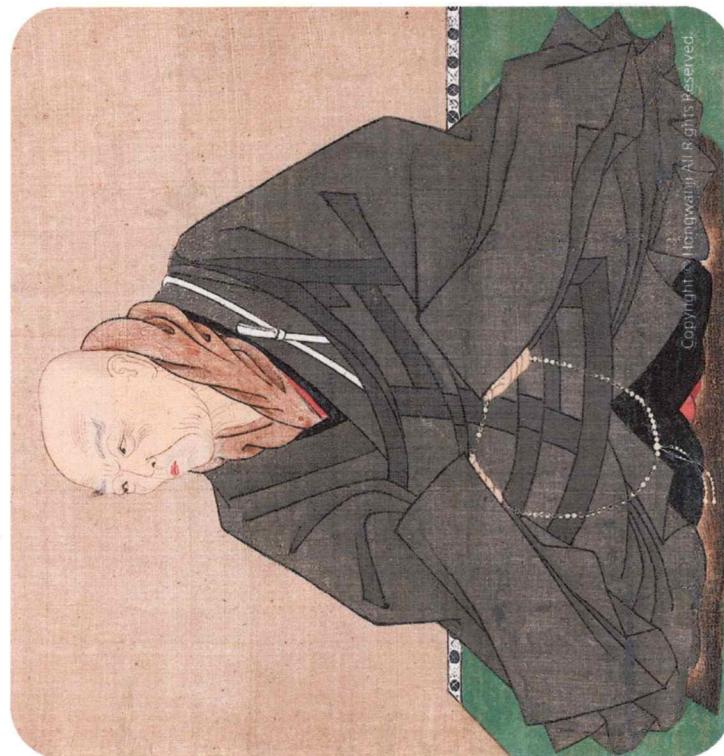


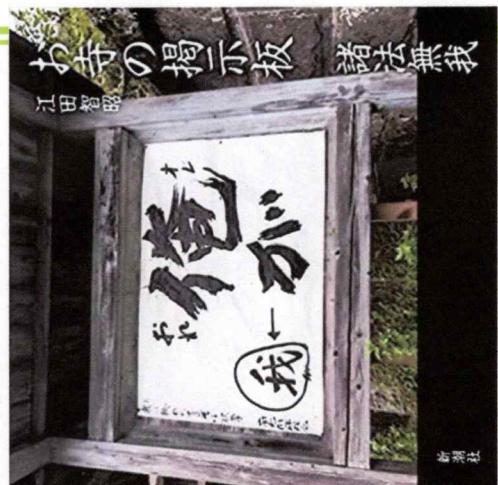
2021年11月報恩講 超覚寺報 第49号 【ハーフ屈たより】



- ◎ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座)：毎月28日 13時半～15時
10/28・11/26・12/28：テーマフリーの座談形式で開催して
います。(28日が土・日に当たる場合は直前の金曜日に開催)
- ◎ 死別の分かちあいの集い：13時～15時
・夫を亡くした方：毎月第1土曜日(11/6・12/4・1/8・2/5)
・自死遺族の方：毎月最終土曜日(10/30・11/27・12/25)
当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。
- ◎ 寺ヨガ：毎月第2・4月曜日 10時30分～11時30分
初回1,500円(5回券6,500円)で、「広島市高齢者いきいき活動ポイント」対象です。お問い合わせは、下記宛にメールください。
« terayoga-hiroshima@vysyogi.com »
- ◎ 水引細工講座：10/27(水) 13時～14時30分
今回が初回のハンドメイド講座で、水引で石畳結びを5個作ります。
参加される方は、材料費900円とハサミをお持ちください。

◇ 報告・連絡・“僧”談

「お寺の掲示板(新潮社)」の第2巻
が刊行されました。超覚寺の掲示板も
紹介されています。ぜひご笑覧ください。
2018年から「お寺の掲示板大賞」と
いうコンテストが開催され、昔ながらの
伝道手段であった「お寺の掲示板」が
世間から注目されるようになりました。
4年目になる今年も開催されています。
前住職から引き継いだ当初は週1枚
ペースでしたが、今は毎日2枚張り替えています。インターネット上でも
発信していく広島市外の人にも観てもらえるので、超覚寺の良い広報
になつていてるなあと感じています。「#超覚寺」で検索してみてください。
発行人：超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (*—*)人 ⑥



淨土真宗(真宗大谷派・東本願寺)



林鷗山憶西院
超覚寺

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI
(since 1619, 元和5)
〒730-0013 広島県広島市中区ハテ堀 5-2
Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113
Mail : wada@namuamidabutsu.com
HP : <http://www.namuamidabutsu.com>
<http://mytera.jp/tera/48chokakuji>

◇ “寺”後報告

・9月23日(木・祝)【秋季彼岸会】

コロナ禍の非常事態宣言中で、近隣のお寺さんは軒並み中止していましたが、お聴聞したい方々の受け皿になればと思いつき開催しました。三密対策で座席を離し、おせんざいやお茶菓子類の提供は止め、お供えのお餅とおはぎとペットボトルのお茶を個別にお渡しました。おかげさまで例年以上の約30名の方々がお参りくださいました。今回も、瓜生崇師の法話を撮影しインターネットに載せました。「ユーチューブ 超覚寺」と検索いただければ動画が拝聴できますので、どうぞご利用ください。



・10月8日(金)【龍谷大学 臨床宗教師研修】

京都の龍谷大学院生7名がグリーフケアの実習に来られました。「原爆の実相」と「遺族の分かちあい」について私が話し、伴侶を亡くされたご遺族2名からは体験談や想いを聞きました。布教や儀式作法ではない「無畏施」そのものの学びは、若い世代には為になったようです。

☆ 【報恩講】

「報恩講」とは、親鸞聖人のご命日に合わせ、浄土真宗寺院でお勤めする最も大きな法要です。「報恩講」という法要自体は、本願寺三代の覚如上人が、永仁2(1294)年、親鸞聖人の33回忌法要の際、「報恩講式(私記)」を撰述されたことに始まると伝えられています。真宗大谷派の御本山東本願寺では、聖人の旧暦のご命日11月28日まで1週間に渡ってお勤めされます。超覚寺では、毎年11月第1土曜日にお勤めさせていただきますので、みなさまのお参りをお待ちしております。

この報恩講の「報恩」とは、どういう意味でしょうか? 「恩返し」という言葉には、「自分にとつて善いことをしてくれた相手に感謝し、それに相応しい行為をして報いる」とあります。「報恩」という言葉も普通に読みますと、「恩に報いる」ですから、この「恩返し」と同じ意味かと思うところですが、浄土真宗での「報恩」は意味が異なってきます。

そもそも、私たちちは阿弥陀さまから頂いたご恩に相応しい行為をお返しすることなどできるのでしょうか? 「報恩」の語源は、お釈迦様がお生まれになった古代インドのサンスクリット語「クリタジュニヤター」という言葉のようです。クリタとは「なされる」、ジュニヤターとは「知る」ということで、合わせると「なされたことを知る」という意味になります。阿弥陀さまは私たちちがこの世に生まれるよりはるか昔から、今のこの私を救う働きをなさつておられていました。そして現世において、いよいよ私にお念佛を受け入れさせ、必ず仏と成ることが決定する身に仕上げてくださったのです。今、「南無阿弥陀仏」と私の口からお念佛が出てくるのは、遠い過去世から阿弥陀さまがお育てくださつていたからなのです。そんな阿弥陀さまの過去世からの広大無辺なご恩を知らされても、真実の心を持たず煩惱しか持たない私は、お返しなんてちつともできないということにア

超覚寺 冬の行事のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、ありがとうございます。さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますが、**コロナウイルス対策をし、三密に充分に配慮しますので、ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。**<(_ _)>

◎ 2021年 報恩講法要 11月6日(土)
10時～ 勤行：住職
10時半～ 法話：小山興圓師
コロナ禍が収束していないので、今年も午前だけの法座となります。お齋の代わりに、御供餅と御赤飯をお持ち頂きます。



今回も、私が学んだ大谷専修学院（真宗大谷派僧侶養成所）の同期でもある小山興圓師（愛知県安城市本證寺住職）が、親鸞聖人御絵伝の絵解き法話をござ披露くださいます。

コロナ禍も落ち着いてきて(10月中旬現在)、ワクチン接種済みの方も増えました。でもやはり治療薬ができるまでは油断禁物です。超覚寺も従来通りの三密対策は実施し続けますので、皆さんも相応の対策を済ませて、安心してお参りできるように致しましょう。

◎ 2022年修正会法要

1月1日(土・祝) 6時～、8時～、10時～、12時～、一年の計は元旦にあり。「今年もお念仏の道を歩ませていただきます」と阿弥陀様にご挨拶申し上げましょう。住職が約10分ほどの勤行・法話を勤めますので、新年どうぞ本堂までお参りください。
門松や冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし(一休禅師)

気がかりされます。できると考えるならば、それは思い上がり以外の何ものでもありません。お返ししようにもできない私なのです。親鸞聖人は『教行信証』で、信心を頂いた者が獲得するという現生での十種の利益の中に「知恩報徳の益」をあげられました。信心を獲るということは、仏さまから賜った広大無辺のご恩を知らされることがあります、おのずからそのご恩に報謝することができるようになる、信心にはその恵みに報いる徳がそなわっているということです。

阿弥陀さまが「あなたを必ず救う、私の名を呼べ」と仰るままを受け取り、ただただ「南無阿弥陀仏」とお念仏を称えさせていただきながら人生を送らせていただき、それこそが阿弥陀さまのお心にかなうことであり、報恩の行いなのだと親鸞聖人はお教えくださいたのです。ご恩に気づかされ、それに報いた人生を送ることができることを恵まれる。私からは何もお返しすることはできません。報恩の行いさえ、全てが阿弥陀さまからの賜りものであったのでした。もう新しいカレンダーが出ていますが、新しい年も共に「南無阿弥陀仏」と報恩感謝の一年にいたしますよう。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について
例年 秋季彼岸会の時期は お納めいただいた方が多く玄関が混み合います。お振り込みもどうぞご利用ください。

【ゆうちよ銀行】5190-55770601】

他金融機関からゆうちよ銀行へ振り込まれる際は、次のように入力してください。

【名義】チヨウカクジ
【店名】五一ハ(読み ゴイチハチ)
【店番】518(普通預金) 5577060